

発行 北東アジア学会事務局

京都市伏見区桃山長岡越中北町 49-1-201 〒612-0056

電話 075-612-6012 / FAX 075-612-6012 / 電子メール jimukyoku@anears.net / URL <http://anears.net/>

今号のヘッドライン

【1面】第18回学術研究大会のおしらせ【第1報】

プログラムの概要

自由論題(分科会)報告の募集について

第18回学術研究大会に関する問い合わせ先

【2面】学会誌編集委員会からのおしらせ

和雑誌「北東アジア地域研究」発行時期の変更について

英雑誌「Frontier of North East Asian Studies」第12号(移管第1号)の投稿論文募集について【再報】

【2面】「北東アジア地域研究」「環日本海研究」のNII-ELS参加について

【2面】北東アジア学会優秀論文賞の推薦受付について

【3面】韓国東北亜経済学会2012年年次大会への派遣報告

【4面】北東アジア学会学生奨励賞について

【5面】総会・理事会・常任理事会議事

第7期第1回常任理事会報告

第7期第2回常任理事会報告

第7期第3回常任理事会報告

【7面】会員消息

【7面】事務局からのおしらせ

第18回学術研究大会のおしらせ【第1報】

東アジアでは FTA/EPA が急速に進展している中で、北東アジアでも経済的なつながりが最も強い日中韓の間で FTA 締結への動きがみられるようになりました。今後の北東アジアでは、単に経済だけでなく、経済連携のための社会・文化基盤、いわば、異文化の共存に向けた仕組みの構築が重

要な課題となっています。こうした時期にあつて、第18回学術研究大会を福井で開催する運びとなりましたが、今回のテーマを以下のように設定いたしました。

会員の皆様のふるってのご参加と、研究大会でのご報告を募集いたします。

プログラムの概要

統一論題

北東アジアにおける経済連携の社会・文化基盤の構築について—多様な価値共有が可能か—

とき

2012年10月13日(土)、14日(日)

ところ

福井市地域交流プラザ(福井市手寄1-4-1、JR福井駅前)

おもなプログラム

10月13日午後 統一論題企画、懇親会

10月14日 分科会報告

自由論題(分科会)報告の募集について

時間配分(予定)

報告 40分、討論 10分、質疑応答 10分

応募の締切関係

申込期日 2012年5月31日(木)

提出物 報告申込書に800字程度の概要を示したもの

提出先 第18回学術研究大会実行委員会
(本ページの一覧下)

提出方法 電子メールかファックス

報告者のその後の提出物

提出物1) A4判2枚の予稿集原稿
(当日配布の冊子体)

提出物2) 8,000字程度のフルペーパー
(今大会から導入、事前にweb上で閲覧できるようにします)

締切 1)、2)とも2012年9月10日(月)

第18回学術研究大会に関する問い合わせ先

北東アジア学会第18回学術研究大会実行委員会

委員長 唱新(福井県立大学)

連絡先 〒910-1195 吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1 福井県立大学経済学部唱研究室気付

電話 0776-61-6000 内線 2507 / ファックス 0776-61-6014 / 電子メール chang@fpu.ac.jp

Web サイト <http://anears.net/conf/conference2012.html>

学会誌編集委員会からのお知らせ**和雑誌「北東アジア地域研究」の発行時期の変更について(予告)**

本学会の和雑誌「北東アジア地域研究」は、これまで、毎年10月1日を発行日としてきましたが、第19号以降、5月31日に変更するべく、議論を進めています。

変更理由は、これまで、学術研究大会の開催から、「北東アジア地域研究」の発行までに、1年を要していましたが、大会と学会誌の連動を密にし、本学会の学術活動をより活性化するため、大会開催から学会誌発行までのタイムラグを半年程度に短縮しようとするものです。

先日開催された、第7期第4回常任理事会で、編集要綱の改訂が承認されました。改訂手続は、次の理事会に諮り、そ

こでの議を経た上で、承認いただければ、正式にご報告申し上げます。

投稿を準備されている会員もおられることと存じますので、第19号以降の投稿と発行のスケジュールが変更になることについて、予告申し上げます。

第19号以降の編集サイクル(案)

投稿締切	毎年11月30日
発行日	毎年5月31日

問合せ 「北東アジア地域研究」編集委員会

henshu-j@anears.net 【松野周治】

英雑誌「Frontier of North East Asian Studies」第12号(移管第1号)の投稿論文募集について【再報】

富山大学極東地域研究センター紀要「Far Eastern Studies」が、2013年3月発行分から、本学会英文学術雑誌「Frontier of North East Asian Studies」(「FES」)として移管されます。

英雑誌編集委員会では、移管第1号となる「FES」第12号へのみなさんからの積極的な投稿を受け付けています。FESは、本学会会員だけでなく、非会員からの投稿も受け付けます。投稿締め切りや発行時期に関するおよそのスケジュール等は以下の通りです。

投稿資格	非会員からも積極的な投稿を募ります
投稿締切	随時受け付けています。移管第1号(通算

第12号)の最終締切は2013年4月末(あるいは5月末)です

査読結果の通知 2013年夏ごろ

第12号の発行 2013年秋

詳細 本学会ホームページで「Instructions for Authors」を参照のこと

英文校閲 投稿者の責任においてあらかじめネイティブチェックをお願いします

投稿先・問合せ 「FES」編集委員会

henshu-e@anears.net 【今村弘子】

「北東アジア地域研究」「環日本海研究」のNII-ELS参加について

第6期から準備を進めてまいりました「北東アジア地域研究」「環日本海研究」の国立情報学研究所電子図書館(NII-ELS)への参加が、この夏頃から供用開始になります。

これまで、本学会の学会誌は、所蔵図書館か会員の手元にあるものだけでしたが、今後は、国立情報学研究所論文情報ナビゲータ(CiNii)経由で、すべての論文がpdf形式で閲覧できるようになります。また、CiNiiに接続参照する機関リポジトリからも、同様のサービスを得ることができます。

第6期学会事務局を中心に、過年度、本学会の学会誌にご執筆頂きました会員のみなさまには、電子的再配布に関する著作権の学会への集中作業にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

なお、現在の「北東アジア地域研究」では、電子再配布に関する著作権は原則として学会に帰属することになっております。

問合せ 学会事務局 jimukyoku@anears.net 【山田一隆】

北東アジア学会優秀論文賞の推薦について

「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者の育成を目的として、学会設立10周年を記念して設立されました。今年度も、下記の日程で、推薦を受け付けています。

被推薦対象論文	「北東アジア地域研究」第17号をはじめとする、2011年6月1日から2012年5月31日までに公開された査読付単著論文
被推薦対象者	当該論文発表時に40歳程度である学会員(会費を完納していること)

推薦方法 2012年6月30日までに推薦状(指定様式)とともに、当該論文の抜刷5部を添えて学会事務局に提出

表彰 審査を経て、2013年度会員総会(2012年10月14日、福井市=予定)で表彰

副賞 韓国東北亜経済学会での研究報告(航空運賃等の費用を本学会が負担)

詳細・問合せ 学会事務局 jimukyoku@anears.net

韓国東北亜経済学会 2012 年年次大会への派遣報告

[1] 派遣の概要

とき 2012年2月20日-21日

ところ 延世大学(ソウル市)

派遣会員 佐渡友哲、李点順、山田一隆

[2] 取組成果の概要

- 韓国東北亜経済学会 2012 年学術研究大会には、韓国をはじめ、中国、モンゴル、日本からの参加者を交え、のべ60名程度の参加があった。
- 本学会からは会員3名を派遣し、佐渡友哲会員「アジア太平洋における多様な地域連携の中の東北アジア」、李点順会員「On the Consumption Expenditure Distortion among Different Income Classes: Evidence from South Korea and Japan」の2名が研究報告を行った。
- 同学会と本学会との学術交流において、多年にわたる功績をたたえて、同学会から坂田幹男名誉会員に「感謝牌」が贈呈された。

[3] 大会プログラム(本学会事務局による仮訳)

開会式(21日 09:00-09:30 大宇館別館 B110号)

司会: ソチャンベ(NAEAK 事務局長、釜慶大学)

開会辞: ジョンヨジョン(韓国東北亜経済学会会長、KIEP)

祝辞: 刘瑞(中国マクロ経済管理教育学会会長、中国人民大学)

佐渡友哲(北東アジア学会会長、日本大学)

カンジュンヨン(韓中社会科学学会会長、韓国外国語大学)

第1分科会(21日 09:30-11:30 大宇館別館 B110号)

"中国微型企業生成と発展問題探索"

孫后明(北京郵電大学経営管理学院)

"Japan's TPP Policy and Implication"

佐渡友哲(日本大学法学部)

"モンゴルの経済と社会福祉政策: 鉱山開発とバウチャー政策を中心に"

ムンクナッサン

(Munkhnasan G., National Univ. of Mongolia) /

シムウィソブ(National University of Mongolia)

第2分科会のA(21日 14:00-15:30 大宇館別館 B110号)

"Northeast Economic Cooperation and Japan's Role"

李点順(富山大学極東地域研究センター)

"国政課題'北東アジアオイルハブ'見込みと課題: 誤解と真実"

ペクフン(中央大)

"An Empirical Analysis on Trade Benefits between China and Korea: Focus on the Electromechanical Industry"

張東明(遼寧大学韓国研究センター)

第2分科会のB(21日 14:00-15:30 大宇館別館 B104号)

"中国の性別1人当り国民所得の収斂化に対する研究"

パクスノク(韓国経済研究院) /

チェドヨル(韓国技術教育大学)

"中国新世代農民公議特徴と団体交渉能力の変化: ホンダ自動車ストライキ事例を中心に"

ジョヒョンジュン(建国大学) / イヨム(建国大学) /

メリムヘ(建国大学)

"Northeast Asian Economic Cooperation: Assessment and Prospects of the Greater Tumen Initiative"

クジョンモ(江原大学) / イヒョンフン(江原大学) /

ユトナ(江原大学)

第3分科会のA(21日 16:00-16:50 大宇館別館 B104号)

"図們江区域物流産業競争力評価"

リグァンス(中国延辺大学) / イオンジン(弘益大学)

"文化要因と中国地域経済格差に関する研究"

キムサンウク(培材大)

第3分科会のB(21日 16:00-16:50 大宇館別館 B110号)

"中国との交易が韓国の雇用に及ぶ効果"

キムワンジュン(東亜大)

"中国の WTOGPA 加入推進と韓-中 FTA に及ぶ影響"

ソチャンベ(釜慶大学)

総合討論-ラウンドテーブル: "北東アジア経済研究の現況と方向"(21日 17:00-18:00 大宇館別館 B110号)

司会: ジョンヨジョン(KIEP)

提案及び討論: カンジョンモ(慶熙大学) / キムチャンナム(東亜大学) / ジュソンホン(建国大学) / イチャンジェ(KIEP) / ユヒムン(漢陽大学)



報告する佐渡友哲会員



報告する李点順会員



感謝牌を授与された坂田幹男名誉会員

北東アジア学会学生奨励賞について

「北東アジア学会学生奨励賞」の2012年度の表彰について、富山高等専門学校から推薦があった。第7期第3回常任理事会(2012年2月17日-24日、メールもちまわり)において、慎重に審議した結果、同校からの推薦の通り、授賞することとした。

富山工業高等専門学校からの推薦内容は、以下の通り。

1. 学生氏名:

江部^{えべ}なな恵(国立富山高等専門学校国際流通学科5年生)

2. 研究題目:

中国の少数民族に対する「双語教育」の現状と課題—新疆ウイグル自治区を事例に—

3. 研究の概要:

中国には漢民族のほかに55の少数民族が居住しており、それぞれ独自の文化や言語を持ち、それらを継承してきた。少数民族地域の教育現場では、自民族の言語を教授語として教育を行うことが認められているが、漢語と民族語の両方を教授語とする「双語教育」も導入されている。しかし、文化の継承を主張しながらも、自らの将来のために漢語の習得が欠かせない少数民族と、国家統合を図る中央政府との間で、「双語教育」に対する考え方に違いが見られる。筆者はこの点に着目し、「双語教育」のあり方に問題意識を持った。そこで、本研究では、中国における「双語教育」の現状について、新疆ウイグル自治区を事例として明らかにした上で、「双語教育」がもたらす影響を分析し、今後の「双語教育」の方向性について提言することを目的としている。

具体的には以下のように研究を進めた。まず、少数民族および少数民族教育の歴史、少数民族教育の法的位置づけを分析した。次に、「双語教育」の歴史を述べた後、新疆ウイグル自治区を事例に取り上げて現状を分析した。さらに、中国における「双語教育」の実施による影響を正負の両面から分析した。

分析の結果、「双語教育」の事例研究から、「双語教育」がもたらす影響として、少数民族の漢語能力の向上、沿海部大都市と少数民族地域との教育格差の解消というプラスの影響がある一方、民族アイデンティティの低下、漢語教育の強制による少数民族の抵抗、少数民族教師の失業というマイナスの影響も存在することが明らかになった。最後に、「双語教育」が少数民族政策の1つとしての重要な役割を持っていることから、中央政府と少数民族が互いに尊重し合い、双方が歩

み寄り、「双語教育」を今後の中国全土の発展に活用すべきであると提言し、結論とした。

4. 推薦理由:

少数民族政策は係争点となりやすいと同時に、民族アイデンティティ形成にも大きく作用することから、とくに少数民族教育政策は今後の中国における民族間関係に少なからぬ影響を与える。よって、当該テーマの研究を遂行するには複数の困難も伴うが、中国の今後を見る上で不可欠な重要性を持つ。当該学生は中国の「双語教育」の解明に果敢に取り組み、その背景、経緯および現状を具体的に描いた。

中国の少数民族地域での教育状況について実証的数値を含めて書かれた資料は入手が容易でないため、当該学生は主にウェブサイトを通して中国語の各種資料・統計を広く集め、それらを丹念に読み込むことによって「双語教育」の探究に取り組んだ。その取り組みは、授業を通して習得した中国語と北東アジア地域研究の能力・知識を十分に生かしたものであり、主体的かつ着実な研究姿勢が高く評価できる。

本研究を通して示された提言は、中国における均衡の取れた発展および安定を促し、ひいては北東アジア地域の平和と安定につながると言え、北東アジアの交流に寄与するという貴会の目的にかなったものと考えられる。なお、本研究は今年度の当学科卒業研究の中でも特に優れたものである。

受賞者・江部なな恵さんの喜びの声

このたび、このような賞をいただけたのは、周囲の方々の協力のおかげだと思います。論文を書くにあたり協力して下さった方々、支えてくださった方々にとっても感謝しています。

今回、「双語教育」という中国の少数民族に対する教育について調べたことで、「双語教育」だけでなく、これまで知らなかった中国の少数民族問題の現状について知識を深めることができ、視野も広がりました。

中国の少数民族政策には問題点や課題もありますが、今後少しずつでもそれらが解消され、中国がますます発展していくことを願います。



富山高等専門学校の卒業式で、表彰状を授与された江部なな恵さん

総会・理事会・常任理事会議事**第7期第1回常任理事会報告**

第7期第1回常任理事会が、2011年11月11日(金)から24日(木)にかけて、メールもちまわりで開催されました。議題は以下の通りです。

※ 当日配布された資料と議事抄録は、学会ホームページの会員専用領域(本紙の最後のページにあるアカウントとパスワードでログインが必要)で閲覧できます。

報告事項**[1] 事務局消息**

山田一隆事務局長から、事務局消息について報告があった。

確認事項**[2] 国立情報学研究所電子図書館(NII-ELS)覚書等**

山田一隆事務局長から、国立情報学研究所電子図書館参加にかかる覚書等が回付され、これまでの議論を踏襲した内容であることが確認された。

[3] 第7期第1回理事会議事抄録

第7期第1回理事会の議事抄録について、一部修正(出

席者名、出席者数の訂正)の上、確認された。

依頼事項**[4] 第17回学術研究大会をふりかえって**

佐渡友哲会長から、第17回学術研究大会を総括し、次回以降の大会のより一層の充実を目指すべく提案があり、第2回常任理事会での議論の素材とするべく、各常任理事にふりかえり文書の作成が依頼された。

その他**[5] メールもちまわり常任理事会のあり方・やり方について**

メールもちまわり常任理事会のあり方とやり方について、事務局負担の増大が懸念されることや、オフラインミーティングが軽くなってしまうこと、「月例化」によるメール議論のルーティン化の懸念などが示された。

次回の予定

第7期第2回常任理事会

とき 2011年12月18日(日)午後

ところ 日本大学法学部(東京都千代田区)

第7期第2回常任理事会報告

第7期第2回常任理事会が、2011年12月18日(日)14:00から、日本大学法学部(千代田区)にて、名誉会員・常任理事・理事計11名が出席して開催されました。議題は以下の通りです。

※ 当日配布された資料と議事抄録は、学会ホームページの会員専用領域(本紙の最後のページにあるアカウントとパスワードでログインが必要)で閲覧できます。

報告事項**[1] 事務局消息**

山田一隆事務局長から、事務局消息について報告があった。

新たに構築したメールシステムの一部ドメインに対する不具合およびその修正作業について、事実確認に時間を要したこと、関係する会員に迷惑をかけたことに関して、謝罪があった。

[2] 学会誌発行準備状況について

松野周治和雑誌編集委員長から、「北東アジア地域研究」第18号の構成について報告があり、第19号以降の見直しについて、提案説明があった。その大要は、学術研究大会との連動を重視する視点から、第19号以降、発行時期を従来の10月1日から、5月末日(31日)に変更したい旨、また、北東アジア研究を代表する学術雑誌として、従来の会員著書紹介を「書評」とし、会員外の著書についても取り上げていく

旨、というものであった。

今村弘子英雑誌編集委員長から、「Frontier of North East Asian Studies」の移管プロセスについての報告があり、移管第1号となる12号からの発行時期について、和雑誌の発行時期とのかねあいを見ながら、検討したいとの提案説明があった。

「北東アジア地域研究」は、第18号を2012年10月1日に発行、第19号を2013年5月31日に発行、ほか、松野周治和雑誌編集委員長からの提案について、了承された。また、「Frontier of North East Asian Studies」は、第12号(移管第1号)を2013年秋に発行とすることが了承された。

[3] 韓国東北亜経済学会 2012年年度大会派遣について

山田一隆事務局長から、韓国東北亜経済学会 2012年年度大会派遣について、準備状況が報告された。

協議事項**[4] CiNii から機関リポジトリへの情報開示許諾について**

山田一隆事務局長から、NII-ELS への参加手続きの進捗状況について報告があり、NII から依頼のあった、CiNii から機関リポジトリへの情報開示許諾の趣旨について説明があった。

本件について、NII からの許諾依頼について、応諾することが承認された。

[5] 東日本大震災被災会員への対応について

山田一隆事務局長から、東日本大震災被災会員への対応について、本学会におけるこれまでの経緯、および関連他学会の動向が紹介され、このたびの震災に限らず、大災害により被災した会員への対応について、「申し合わせ」を設けることが提案された。

提案された「激甚災害被災会員の取り扱いについての申し合わせ」は、原案通り承認された。

[6] 第17回学術研究大会をふりかえって

佐渡友哲会長から、第17回学術研究大会のふりかえりについて、第7期第1回常任理事会で文書依頼をした趣旨について、今後の大会をよりよいものにしていくための建設的な論議をお願いしたい旨、改めて説明があり、続いて、山田一隆事務局長から、意見集約の状況と事務局による論点整理が紹介された。

論議を経て、

- 第18回学術研究大会をプロトタイプとして、マニュアル化できるものについて、その作業を進めること、大会開催校の要請を前提にして、プログラム作成への常任理事会の支援を拡大することが承認された。

[7] 第18回学術研究大会について

唱新常任理事から、第18回学術研究大会の準備状況について説明と提案があった。

論議を経て、

- 自由論題報告の募集締め切りを、2012年5月31日とする
- 企画セッションを受け入れる方向で、手続などの検討を継続する
- 統一テーマを「北東アジアにおける経済連携の社会・文化基盤——価値共有は可能か?——」を案として、検討を継続する

ことに、提案を一部修正の上、承認された。

また、議題[6]の論議を踏まえ、

第7期第3回常任理事会報告

第7期第3回常任理事会が、2012年2月17日(金)から24日(木)にかけて、メールもちまわりで開催されました。議題は以下の通りです。

※ 当日配布された資料と議事抄録は、学会ホームページの会員専用領域(本紙の最後のページにあるアカウントとパスワードでログオンが必要)で閲覧できます。

協議事項

[1] 北東アジア学会学生奨励賞について

山田一隆事務局長から、富山高等専門学校から、北東アジア学会学生奨励賞にかかる論文の推薦があった旨、富山高等専門学校国際ビジネス学科からの文書を添えて、説明があった。

- 自由論題報告の応募時に、800字程度の報告概要の提出を求める
- 大会の1か月前までに、A4判2枚程度の予稿集原稿に加え、和雑誌の様式に準拠した8,000字程度のフル原稿の提出を求める
- 提出されたフル原稿は、分科会座長とコメンテーターに回付されるほか、大会開催の1週間前までに、学会ホームページの会員専用領域において、pdfダウンロードできる形で供される

ことが承認された。

確認事項

[8] 第7期第1回常任理事会議事抄録

山田一隆事務局長から、第7期第1回常任理事会議事抄録案について説明があり、原案通り了承された。

[9] 「北東アジア学会つうしん」第41号について

山田一隆事務局長から、「つうしん」第41号について説明があり、一部修正の上、了承された。

その他

[10] メーリングリストの利用の仕方について

本学会では、公式的な常任理事会をもちまわりで行うことに使われていることが多いメーリングリストだが、他学会では、ざくばらんな議論を、メールで行っていることが紹介された。本学会でも、そうした営みを取り入れていきたい旨、了承された。

次回の予定

2012年4月常任理事会

とき 2012年4月21日(土)14:00-17:00

ところ 日本大学法学部(千代田区)

議題 第18回学術研究大会について/20周年事業の準備について/学会誌(J&E)発行準備状況について/その他

おもな論議は、以下の通り。

- 「北東アジア学会学生奨励賞」については、従来、推薦のあったものをそのまま承認している。推薦者のかたを信頼しないわけではないが、賞を出す責任に鑑みると、せめて論文を読んだうえで結論を出したほうがいいのではないか?
- 学会として、複数のだれかが論文を読む必要があると思う。
- 依頼のあった大学等からの選定経過、提出論文が確認できるようにすることなど、学会でもより一層の責任ある対応手続きが必要と考える。
- 「北東アジア学会優秀論文賞」が設けられ数年経過した

こととのバランスの関係で、1)推薦理由に「論文を添付して云々」と記述が無いので、少なくとも、「本学会事務局側に原文を送っていただいていること」が重要と思う、2)次年度分からでも、高専の先生方に推薦理由として、「何名(国際流通学科?)の論文が審査対象となったのか」を明記していただけると、富山高専側にも本学会側にもさらに緊張感が生まれてよいのではないかと。

た、アップデートが必要ではないか。

以上のような論議を経て、本案は原案通り承認された。

次回の予定

第7期第4回常任理事会

とき 2012年4月21日(日)14:00-17:00

ところ 日本大学法学部(東京都千代田区)

会員消息

新入会員 3名

会員種別	在住区分	氏名	組織・機関	推薦人
院生	国内	文 聖姫	東京大学大学院人文社会系研究科	今村弘子、山田一隆
院生	国内	横田 将志	日本大学大学院法学研究科政治学専攻	佐渡友哲、孔義植

2012年4月21日第7期第4回常任理事会承認

退会者 19名

小川 弘	坂本 正範	村上 理映	金 榮沁	中村 信吾
温井 寛	江口 潜	赤羽 孝之	汪 正仁	姜 日天
Lkhamsuren LKHAGVASUREN		楊 世英	新井 厚志	櫻井 浩
鈴置 昌裕	井上 博文	鄭 海東	宮崎 悦子	中山 義壽

2012年4月21日第7期第4回常任理事会報告

事務局からのお知らせ

[1] 事務局移転について

2011年10月、第7期新役員体制の発足に伴い、事務局が福井県立大学経済学部唱研究室から、関西国際大学に移転しました。

しかし、事務局長の山田一隆が、同大学を退職したため、暫定的に以下の住所に事務局を移転しています。

〒612-0056

京都市伏見区桃山長岡越中北町 49-1-201

電話 075-612-6012 ファックス 075-612-6012

電子メール jimukyoku@anears.net

ホームページ <http://anears.net/>

です。ホームページの URL は、第6期から変わりません。電子メールアドレスは、URL と同じドメインの新しいものになっています。

[2] 会費納付のお願い

(1) 2012年度会費の納付について

2012年度の会費納付をお願いいたします。後日お送りします会費納付のご案内で金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、同封の郵便振替払込票をご利用ください。

ゆうちょ銀行郵便振替口座

口座番号 00990-3-117008

口座名義人 北東アジア学会

(2) ネットバンキングに対応した銀行振込の取扱開始について

ネット専業銀行やインターネットバンキングの普及により、金融機関に赴かなくても、資金移動が簡便な時代になりました。こうした時代潮流にかんがみ、第7期事務局から、銀行振

込でも会費納付を申し受けることにしました。学会事務局が3年ごとに移転する本学会の特性上、全国サービスを展開する金融機関として、ゆうちょ銀行を選定いたしました。せいぜいご利用ください。なお、振込の際には、会員氏名を打電してください。振込手数料は会員各位にご負担をお願いしています。

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その1

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)
支店名 ^{ヨサンハチ}四三八(支店コード 438)
口座種別・番号 普通 8097831
口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その2

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)
支店名 ^{ゼロキューキュー}〇九九(支店コード 099)
口座種別・番号 当座 0117008
口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行総合口座(旧・ぱるる)から)

記号 14380
番号 80978311
口座名義人 北東アジア学会

年会費	一般	10,000 円
	院生	5,000 円
	賛助	20,000 円
	特別賛助	100,000 円

[3] 会費の減免措置等について

学会事務局では、以下の会員について、会費の減免、支払猶予の措置を行っています。該当者は、学会事務局までお申し出ください。

- 東日本大震災被災会員[2012年度会費の免除]

[4] 会員への／との情報提供・交換について

第7期事務局では、会員への情報提供、会員との情報交換のためのツールとして、ホームページや電子メールを抜本的に積極活用していくことにしています。

学会誌「北東アジア地域研究」や「北東アジア学会つうしん」

」の発行頻度に依存することなく、柔軟に迅速な情報を発信していくことを企図して実験的に下記の諸点に取り組みます。

- これまでの取組
 - 常任理事会の電子メールによる持ち回り開催
 - 「北東アジア地域研究」「環日本海研究」の全論文、記事のダウンロード
- 電子メール、メーリングリストの活用
 - 「北東アジア学会つうしん」の電子配信(紙媒体よりも早く「つうしん」を読んでいただけます)
 - 理事会の電子メールによる持ち回り開催の検討
 - 全会員への不定期なおしらせの配信
 - 会員相互の情報交流
- ホームページの活用
 - 「北東アジア学会つうしん」のファイルダウンロード
 - 会員所属機関ホームページとのリンク

上記は、多くの学会では実用化されており、会員相互のコミュニケーションが活性化すると同時に、学会運営の効率化が助長されるという効果を得ています。

本学会でも多くの会員のみなさまが、すでに電子メールアドレスを学会事務局にご連絡いただいております。これをベースに各種システムのデザインを順次行なっていく予定です。また、電子メールアドレスをご連絡いただけていない会員のみなさまには、これを機会に電子メールやホームページの活用をご検討いただければ幸いです。

[5] 学会ホームページ会員専用領域へのアカウントとパスワード

アカウント anears パスワード TOra1001

(てい・おー・あーる・えー・いち・れい・れい・いち)

学会ホームページ会員専用領域では、「環日本海研究」「北東アジア地域研究」の創刊号からのすべての論文を pdf 形式で、会員向けに提供しています。ぜひご利用ください。

アカウント、パスワードとも、大文字小文字の違いを認識します。変更時には、「つうしん」にてお知らせいたします。

編集後記

会員名簿2012編纂のために、会員のみなさまには、現状確認調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。また、このたびは、わたしの個人的都合で、学会事務局を再移転することになってしまい、ご不便をおかけすることになり、誠に申し訳ありません。学会事務局では、学会事務局がどこにあっても安定的な学会運営・経営ができるように、今後とも、事務作業の負担軽減と効率化、一部作業の電子化の実施と外注化の準備を進めてまいります。今後とも、学会運営・経営にお力添えいただければ幸いです。

【山田一隆】